

その後

オルクス退治後、パールはオルクス復活を阻止するため、ワンドオブオルクスを守るガーディアンとなった。

しかしながら、彼がワンドを守り始めて間もなくオルクス復活の凶報が届けられることとなる。彼は自分の手元にワンドがあるのにオルクスが復活してしまった謎を探ると共にもう一度オルクスを倒すため、再び冒険へ発つこととなる。

オルクスが復活した理由の一説として、ワンドオブオルクスには前線に立って大胆に戦う " 殴りオルクス様 " のものと、逃げ回りながら呪文を連発する " 魔法オルクス様 " のものの2本が存在するなどと言う噂が流れたこともあったが、まったくもって眉唾物の話である。

デーモンベインのアーティファクトたちからにより使用武器をばすたーどそーどにされてしまった！

Barl の生い立ち

彼の故郷は昔、非常に珍しい NonEvil な Orc の集落だった。

そのころ、集落はとある BrassDragon と交流があり、一族にその血が混ざり足りもしていた。

しかし、その交流は途絶え、彼が生まれる頃には Evil な Orc の集落になっていた。

彼が Aliment も定まらない幼少期の出来事。

長年交流の途絶えていた BrassDragon が集落に戻ってきて、その現状に憤り、Orc 達を集めて正座させて延々と説教を始めた。

すると足のしびれた Orc 達が我慢できなくなって BrassDragon に襲い掛かった。

飛びながら火を噴く Dragon に勝てるはずもなく、集落は焼き尽くされ、残った赤子を拾い、BrassDragon は去って行った。

その後 Barl と名付けられた Orc は、BrassDragon をじっちゃんと呼び慕い、荒野を生きる術や、秘術呪文の知識などを教わり、冒険者となった。

あるとき、独り立ちして久しく会っていなかったじっちゃんより Sending が送られてくる。

「RappanAthuk にて大変なことが起きている。後は頼んだ。グフッ」

同時に Orcus の呪いも飛んできて、Barl は RappanAthuk に向かい旅立った。

CWar 分

■ WarMace

ExoticWeapon

1d12 Broudioning

critical は 20 のみ 2 倍

片手武器。

重いので使っていると AC が 1 下がる。

例のごとくラージ以上はマーシャル扱い。

Barl はディスペルとアンチマを考慮の上、フィートは取っておく。

エティンに持たせるといい。

■ Intimidating Rage

Feat

アレの前提条件 1

Rage,Frenzy したとき 1 回だけフリーアクションで intimidate できる。
そんなん効くような相手なら殴り倒したほうが早い。

■ Destructive Rage

Feat

アレの前提条件 2

Rage,Frenzy 中、静止した物体を壊す Str チェックに +8 ボーナス。
殴り壊したほうが早い。

■ Frenzyed Barserker

Class

たぶん諸悪の根源。

Rage とスタックするあたりが 1 番インチキだと思う。

Frenzy：言わずと知れた狂乱。Str+6, 追加攻撃、止まるまで近くの誰かを殴る。

止めるには毎ラウンド 1 回フリーアクション Will セーブ 20。割と通る。

SupreamCleave:Cleave 中に 5ft ステップをはさめる。

DeathlessFrenzy:Frenzy 中に Hp がいくらマイナスになろうともノーペナルティで行動できる。

怖い物：ディスインテグレイト、カームエモーション、デスタッチ

たぶん今後敵クレリックは皆カームエモーションとデスタッチばかりやってくる。

CAdv 分

■ Expeditious Retreat,swift

Spell

1 ラウンド Move+30。swift。

便利。

まあオマケ。

PHBII 分

■ Madfoam Rage

Feat

受けた攻撃やスペルその他の効果を次の自分の手番の終わりまで遅らせる。1/Rage

■ Blade of Blood

Spell

swift。1 撃だけダメージ +1d6。hp5 払えば +3d6。

Rage とかが無い時に使う。

鎧でミスる。

オマケ。

DMG 分

■ Dragon Dicycle

Class

以下 Lv4 までの能力。

Str:+4

外皮 :+2

BAB:-1

SpellSlot:+3

ブレスウェポン 2d8

爪と牙

MM 分

■ Orc

Race

Str+4

LA が無い。素晴らしい。

■ Troglodyte

Race

変身用。

外皮 +6

亀人間が却下されてここに落ち着く。